

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
会津若松市	河東地区(漆沢)	令和3年3月23日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	35.40 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	35.40 ha
③地区内における10年後までにリタイヤ・規模縮小を希望する農業者の耕作面積の合計	15.30 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	15.30 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	- ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	20.00 ha
(備考)	

2 対象地区の課題

<p>■人</p> <ul style="list-style-type: none"> ○集落内の認定農業者1名。入り作者を含め集積している。 ○後継者が不足しており、集落内での育成等についても検討が必要。 ○将来的にリタイヤや規模縮小意向の面積は約15haあることから、集落内のみでなく、入り作者への集積も検討していく必要がある。 <p>■農地</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中山間地域に位置していることから、傾斜がきつく農用地の管理が困難である。 ○水稻が主な作物となっているが、傾斜地については、そばの作付が多い。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<p>【10年後の農地利用の在り方に関する基本方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○集落の担い手の意向が現状維持であり、リタイヤや経営転換等については入り作の規模拡大意向者を中心に集落内で検討して進めていく。 ○農地中間管理機構や農業委員会の利用権設定などを活用し、プラン内の中心経営体に集積を図っていく。 ○兼業農家の方については、耕作を継続していく。
--

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針（任意記載事項）

① 農地貸し付け等の意向

- 兼業農家で作付けしている方が将来的にはリタイヤ、縮小の意向を持っているため、現在の入作者のうち、拡大意向のある中心経営体に集積を図っていく。
- 集積を図る際には、出し手の意向を踏まえ、農地中間管理事業及び農業委員会の利用権設定を併用していく。

② 新たな担い手の確保

- 集落内担い手の数が少ないことから、集落内における後継者の育成を図るとともに、集落外から就農意向のある者に農地提供を行うなど、若手農業者の確保が必要である。
- 集落外からの入作者についても、今後の農地の出し手の状況や後継者の状況などを踏まえ、必要に応じて新たな受け手の確保も検討していく。

③ 鳥獣被害防止対策の取組方針

- 鳥獣による農作物の被害が増加していることから、被害にあった農地の一覧マップの作成や、電気柵や侵入防止柵の設置等の対策の構築を進める。

④ 中山間地域等直接支払事業への取組

- 農道及び水路の維持管理や補修などのために中山間地域等直接支払交付金を活用していくため、可能な限り取組を継続していく。